

- 問1 世界の一次エネルギー消費に関する統計において、1990年には全体の約2割であったアジア諸国の割合は、2012年には中国が22%、インドが6%、その他のアジア諸国が6%となりました。これらの数値を合計したとき、アジア諸国が世界のエネルギー消費全体に占める割合として、最も適切なものを選びなさい。 (2017年 長野県公立入試 類似)
1. 約4分の1                      2. 約2分の1                      3. 約3分の1                      4. 約3分の2
- 問2 中国が急速な工業化を遂げ、世界有数の経済規模を持つに至った要因と、その経済指標に関する説明として最も適切なものはどれですか。 (2026年 秋田県公立入試 類似)
1. 国内の農業生産を第一に優先する政策をとったことで、自動車の保有台数が世界最大となった。                      2. 人口が減少傾向に転じたことで一人あたりの所得が劇的に向上し、経済規模が世界一となった。                      3. 外国との貿易を厳しく制限する鎖国的な政策を維持したことで、独自の工業化を成功させた。                      4. 1970年代末からの改革・開放政策により外資を導入したことで、国民総所得が大幅に上昇した。
- 問3 アジア諸国の産業別就業者人口の割合を比較した統計において、インドの就業者数の割合が多い産業を順に並べたものとして正しいものはどれですか。 (2018年 広島県公立入試 類似)
1. 第1次産業 > 第3次産業 > 第2次産業                      2. 第1次産業 > 第2次産業 > 第3次産業                      3. 第3次産業 > 第2次産業 > 第1次産業                      4. 第2次産業 > 第3次産業 > 第1次産業
- 問4 東南アジア諸国連合（ASEAN）に加盟するタイにおいて、輸出の中心が農産物から工業製品へと変化した背景と現状を説明した文として、最も適切なものを選択してください。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)
1. 輸入代替工業化に失敗した結果、特定の農作物の栽培に依存するモノカルチャー経済へと逆戻りした。                      2. 外国企業の誘致や投資を受け入れて工業化を推進したことで、機械類や自動車の輸出割合が増加した。                      3. 地下資源の枯渇により工業が衰退したため、現在は観光業と水産業が輸出の大部分を占めている。                      4. 伝統的な農業を重視する政策に転換したことで、米や天然ゴムの輸出額が工業製品を上回るようになった。
- 問5 中国の人口統計において、一定の面積（1平方キロメートル）あたりに居住する人口の数を示す数値を比較したとき、山東省などの沿岸部と、甘粛省などの内陸部の特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
1. 人口密度は中国全土で均一であり、省ごとの地理的条件による差はほとんど見られない。                      2. 人口増加率は内陸部で高く、沿岸部に向かうにつれて低くなる傾向がある。                      3. 人口密度は沿岸部で高く、内陸部に向かうにつれて低くなる傾向がある。                      4. 人口密度は内陸部で高く、沿岸部に向かうにつれて低くなる傾向がある。
- 問6 世界のさまざまな地域で見られる宗教儀礼の説明文のうち、東南アジアのタイなどで広く信仰されている宗教の文化にあたるものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)
1. 決まった時間に聖地メッカの方向へ向き、ひざまずいて祈りを捧げる。                      2. 日曜日になると人々が教会に集まり、聖書が朗読される中で祈りを捧げる。                      3. 早朝に黄色い衣装を着た僧侶が街を歩き、人々が食料などを寄付（喜捨）する。                      4. 数多くの神々を信仰し、巡礼者がガンジス川の聖なる水に入って身体を清める。
- 問7 インドのIT産業は、アメリカ合衆国のシリコンバレーなどの企業と密接に連携して発展してきました。インドとアメリカ合衆国の間にある「約12時間の時差」を活かした業務運営の仕組みとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 富山県公立入試 類似)
1. 時差による気温の変化を利用して、現地に移転し、そこから日本へ製品を逆輸入する構造が定着したため。                      2. 日付変更線をまたがない位置関係を利用して、リアルタイムの金融取引を24時間中断せずに行う仕組み                      3. アメリカとインドで常に同じ時刻に会議を行うことで、意思決定のスピードを極限まで高める仕組み                      4. アメリカの企業が業務を終える夜間に、インド側で作業を継続することで、24時間体制の効率的な開発を行う仕組み
- 問8 世界各地で見られる地域協力の枠組みのうち、東南アジア諸国連合（ASEAN）が掲げている主な目的や特徴として適切なものはどれですか。 (2022年 山口県公立入試 類似)
1. 石油の価格や生産量を調整し、加盟している産油国の利益を保護する。                      2. ヨーロッパ全体の経済や政治の統合を進め、共通の通貨であるユーロを導入する。                      3. 域内の経済成長を促進し、政治的・社会的な安定や文化の発展を図る。                      4. 太平洋を取り囲む国々で、自由な貿易や投資を行うための緩やかな協力を行う。
- 問9 タイから日本への輸出品目において、電気機器や機械類といった工業製品が高い割合を占めている理由として、最も適切な説明はどれか。 (2017年 群馬県公立入試 類似)
1. 日本の多くの製造業が生産拠点を現地に移転し、そこから日本へ製品を逆輸入する構造が定着したため。                      2. タイ政府が原油や天然ガスなどのエネルギー資源を独占的に日本へ輸出する政策をとったため。                      3. 日本の農家との競争を避けるため、農産物の輸出を禁止し、重化学工業製品の輸出のみを推奨したため。                      4. 労働集約的な産業である衣類や繊維製品の生産に特化し、安価な製品を大量に日本へ供給しているため。
- 問10 多くの日本企業が製造業の拠点をベトナムなどの東南アジア諸国に移転させています。2021年の統計において、日本の月平均賃金が約3000ドル弱であるのに対し、ベトナムは約300ドル強と約10倍の差があるというデータに基づいた場合、日本企業が現地へ進出する最大の目的として最も適切なものはどれですか。 (2026年 山形県公立入試 類似)
1. 現地の高度な技術力を活用し、日本国内では製造できない高機能な製品を開発すること。                      2. 現地に眠る石炭や鉄鉱石などの豊富な地下資源を、安価かつ大量に調達すること。                      3. 現地の巨大な消費市場を独占するために、現地での販売活動のみを強化すること。                      4. 賃金の低い豊富な労働力を活用し、製品の生産コストを抑えて競争力を高めること。
- 問11 南アジアの農業において、年間降水量が1000mmを超えるガンジス川の下流域やインド半島の東部沿岸地域で、主食として盛んに栽培されている農作物を次の中から選びなさい。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
1. とうもろこし                      2. 綿花                      3. 小麦                      4. 米
- 問12 東南アジア諸国連合（ASEAN）の加盟国であり、赤道付近に位置する島々からなるインドネシアの地理的・社会的特徴として正しいものはどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 南アジアに位置する島国で、近年は衣類などの繊維工業が急速に発展している。                      2. 東南アジアの中で最も人口が多く、世界最大のイスラム教徒人口を抱える。                      3. 西アジアのサウジアラビアと並び、乾燥した砂漠気候が広がるイスラム教国である。                      4. 東南アジア大陸部に位置し、メコン川下流域の肥沃な平野で稲作が盛んに行われている。